



「自治体と夢のコラボ企画！
「建築士による歴史的町並みガイド」
みんなに、このまちの素晴らしさを伝えたい・・・」

開催状況

建物の歴史的な背景を掴むため事前にお寺や建物所有者へインタビューを行い、また伝統建築の造りに関しても知識を深める作業に労力を費やしました。集めた資料をわかりやすく・短くそぎ落とす作業もなかなか苦労しました。プログラムの関係で参加者は10人限定でしたが、その分近い距離での案内が出来ると思います。自分たちの提案も取り入れてもらい、料亭の建物内を一部見学コースに設定して見学者の目を楽しませることが出来ました。参加者からは「来年も参加したい」という有難いコメントをいただきました。



成果と課題

地元の歴史や伝統建築の知識を深める良い経験になり、また当支部で行った県大会の内容へと繋ぐことが出来ました。今回ガイドした場所はこれからもまちづくりのキーとなる確信が持てました。この場所でまた、自分たちのオリジナリティを出した「まちあるき・ガイド」を続けていければと思います。

このような活動を一般の人へより多く周知する方法を考えていかなければならないと感じました。

当日は大館神明社例祭の日。最後に訪れた神社では一般では見られない神事や巫女の舞などを見学することが出来ました。

事業情報

主催団体	□	建築士会			■	他団体（大館市）			助成	有・無	ヶ所
活動収支	収入	15,000				7,000（会議・取材）			協賛	0	社
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
		5	4	9		0	0	10	0	10	19
連携・協力組織											

事業名称：H29年度大仙市秋の稔りフェア 建築士と一緒に作ろう！

建築士（会）の周知

『100円shop品と廃材で作る！木製ラック☆』『これぞ伝統技術!!!!「組子」で作るコースター☆』組立体験



◆当建築士会の旗をバックに写真をパシャリ☆インスタントフィルムで出力しその場でプレゼントしました。（記憶より記録?）

きつかけ
身近なもので簡単モノづくり★
地元建築士と一緒に達成感を。そして喜びを分かち合おう！

な共 ない 以前はパネル展示や絵画コンクール等を中心として参加し、
なく 建築士会を感じた秋祭りの場、来場者と一緒に3年ぶりに「建築物を組上げる」抵抗、
身近に感を得る機会が、体験者としての参加が、移動の機会が、3年ぶりに「建築物を組上げる」抵抗、
共 なく 身近に感を得る機会が、体験者としての参加が、移動の機会が、3年ぶりに「建築物を組上げる」抵抗、



◆真剣な眼差しの参加者を青年委員会のスタッフがしっかりとサポート。釘ではなく親指を打たれたとか打たれなかったとか…。

成果と課題

地元の秋祭りに共催することで集客効果増大を期待していました。今年は生憎の雨模様であり肌寒さが重なり参加者が少ないものと予想していましたが、そんな心配は覆され過去最多の参加者数（延べ）となりました。参加者の中には「昨年も来たよ!」「また来年も来るね!」といった声が多く聞かれ、成果は確実にできていると感じ嬉しく思いました。これを励みに「建築士会」の更なる周知を図りたいと思います。そして初ステージとして、「未来の建築士」を育む活動も併せて企んでいきたいと思っています。

開催状況

今年で3年目となった物づくり体験では、「建築」をより一層身近に感じてもらいたいとの主旨から、誰でも簡単に手に入る100円ショップで売っているスノコ(桐製)を使用したラックの製作を行いました。当初棚板にはコスト面を含めて合板を切り廃りなく切断し使用する予定でしたが、ここでは「建築」らしさをより押し出すため、現場で廃材となるフローリングの切れっ端を青年委員会のメンバーより各々持ち寄ってもらい再利用しました。

その他に地元の建具業者へ組子キットの製作を依頼し、当日は見本を元に組子コースターの組立体験をしてもらいました。



◆組み立てた後は親子揃って「あーでもない、こーでもない」と打合せをしながら仕上げ作業を行いました。

事業情報

主催団体	■ 仙北建築士会青年委員会	□ 他団体（ ）	助成	有	無	ヶ所
活動収支	収入 57,000円	支出 57,000円	協賛	0	社	
来場者	運営側	建築士会 他団体 計	参加者	会員 建築士 一般 子ども 計 合計		
		12 0 12		0 0 54 47 101 113		
連携・協力組織	大仙市（大仙市秋の稔りフェア主催者）					

平成25年の湯沢雄勝支部青年大会でのワークシヨップがきっかけとなり始まった事業で、今年で3年目となります。アーケードの模様替えを通して、会員同士や商店街の方々との交流を行ないつつながら湯沢サンロード商店街の新たな姿を模索しています。



開催概要											
主催団体 活動収支	■ 収入	建築士会			□ 支出	他団体（ ）			助成 協賛	有 無	ヶ所 社
	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
来場者		7		7						0	7
連携・協力組織											

次世代育成

事業名称：受け継がれる秋田杉と技能（地域循環型） in かつの元気フェスタ



↑ 近年なかなか見ることない散餅散銭の儀（餅まき）。子供から大人までたくさんの人が集まっています。



↑ 模擬上棟式は、棟梁の腕の見せ所。槌打ちの儀では、掛け声とともに土台四隅をカケヤでたたきますが、子供たちもしっかり参加しました。

成果と課題

木工教室では子供たちが進んで道具を使いながら製作したり、散餅散銭の儀（餅まき）ではイベントの一般来場者がたくさん集まり、本番さながらの雰囲気になり、上棟式に参加した子供たちからは来年も参加したいなど、記憶に残る体験を提供できたと思っている。

課題としては、建築士だけのコーナーの作りこみができていないため、どのような体験を提供していけばよいか毎年悩んでいるところです。

開催状況

実際の建て方作業を子供と大人の大人さんがしたうえで行われる模擬上棟式のコーナー、本棚などを親子で製作する木工教室、木片を利用した積木や釘打ち体験のできる木とふれあい体験コーナーの3つに分かれて実施しました。

当日は、かつの元気フェスタというイベントが開催されており、来場者数多数で、どのコーナーもたいへん賑わいました。特に、模擬上棟式の散餅散銭の儀（餅まき）では、建物の周りにたくさんの来場者に恵まれ、イベントの中でも毎年注目されるコーナーとなっています。



↑ 木工教室では、設計、組立、仕上げなどのグループに分かれて作業しました。意外と女の子が上手に仕上げていたのには驚きました。

事業情報

主催団体	■ 鹿角建築士会	■ 他団体（建設技能組合）	助成	有（無）	ヶ所
活動収支	収入 建築士会1万円、他団体4万円、協賛金5.6万円、売上0.47万円	支出 イベント保険2,340円、餅まきお菓子代40,000円、その他材料等66,000円	協賛	15	社
来場者	運営側 建築士会 9 他団体 9 計 18	参加者 会員 建築士 一般 30 子ども 30 計 60			合計 78
連携・協力組織	かつの元気フェスタ実行委員会、鹿角市、鹿角市社会福祉協議会				



地域社会における建築士活動の周知と建築士としての社会貢献を計るため。

地域に根ざした建築士活動。

無料建築相談会のパンフレット



相談中の写真。自ら本を持参し熱心に質問するお客様の様子。

成果と課題

今回で二回目の開催でしたが、前回から開催場所を変更し、より人が集まりやすく参加しやすい環境が今回の集客につながったポイントだと感じております。
今後も定期的に開催し、更なる建築士会の周知と社会貢献に勤めていきたいと思ひます。

開催状況

地元能代山本の建築士が集まり無料相談会を開催しました。土・日・祭日には子供連れの家族がたくさん訪れる秋田県能代市にある能代火力発電所敷地内の能代エナジウムパークという施設のホールを借りて行うことができました。日曜日の1日開催(10時～15時)でしたが5組9名というまずまずの集客数でした。



会場入口の写真（能代エナジウムパーク）

事業情報										
主催団体	☐	能代山本建築士会			☐	他団体（ ）			助成	有 ☒ 無 ☐
活動収支	収入				支出	約3,000円（スタッフ昼食代）			協賛	0
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計 合計
連携・協力組織		5		5			7		2	9 14

事業名称：由利本荘市民まつり協賛事業 「木工教室」



初めてのインパクトドライバー、親子一緒に作成中！

きつかけ

建築士の働いている場所や住んでいる地域には、職能を生かせる社会活動の場がたくさんあり、多くの人からその機能が求められているため、今回の事業を実施します。

建築士の持つている職能を生かし、建築に身近な木を使用し、ものづくり体験を通して建築への興味を引き出します。

また、活動を通して、建築士会や建築士を一般市民の皆様に広く周知します。

椅子づくりだヨ！全員集合

開催状況

木製椅子の材料を来場者に組み立てて頂き、材料代として一脚300円をいただきます。普段あまり触れることのない、金づちやインパクトドライバーを実際に使用し組み立てていきます。かなづちの大きな音に釣られ多くの来場者が足を止めて行けました。お年寄りから子供まで出来る作業となり、多くの来場者に喜ばれていました。

参加した親子からは、

- ・普段触ることのない道具を実際に使い椅子を完成させることができて良い経験となった。
- ・最初は子どもに作らせるつもりだったが、親も夢中になり楽しかった。

とのお話など聞くことが出来ました。



まるで斧を振り下ろすかのように金づちと奮闘！

成果と課題

9時から開始し13時には用意した椅子50組が売り切れとなり、大好評となりました。参加者はあちこちで金づちの音を出しながら楽しんで取り組んでいました。

今年から材料代として300円をいただきましたが、大きな混乱もなく、例年のあまりにも混みすぎというのが解消され、運営側としては大変良かったところです。



自分が作った椅子と記念撮影！

事業情報											
主催団体 活動収支	□	建築士会			□	他団体（			助成	無	ヶ所
	収入	50,538円 (本会計+参加費：人/300)			支出	50,538円			協賛	0	社
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
		12	0	12		0	0	50	30	80	92
連携・協力組織	由利本荘市										



「はじまりの会」です。当会その他、建設技能協同組合、造形教育研究会等のコーナーがあります。

子どもたちが放課後や休日に、より豊かな体験が出来るように、造形活動を主体とした遊びを提案する「つくってあそぼう」への協力が毎年、横手市子ども会育成連合会から依頼されます。活動趣旨に賛同し、当会も参加することにしておきます。

開催状況

当会では折り紙建築と網代編みを体験してもらいました。

折り紙建築では、1枚の紙とカッターだけで立体的な建築が出来ると同時に、多くの子どもの歓声と達成感が伝わってきました。

網代編みでは、あらかじめこちらで細い薄板を用意し編んでもらいました。色とりどりのテープやビーズなども用意し、子どもたちに自由に飾り付けしてもらいましたが、大人にはない発想に、こちらでも楽しませてもらいました。



「網代編み」を体験してもらっています

成果と課題

毎年の恒例行事となり、横手市からも期待されている感があります。マナーリとならない為にも、子どもたちに飽きられない工夫をしていきたいと思ひます。



「折り紙建築」にもチャレンジしてもらいました

事業情報											
主催団体 活動収支	□	建築士会			■	他団体（横手市子ども会育成連合会）			助成	有・無	ヶ所
	収入	30,000円（当会予算）			支出	30,000円			協賛	0	社
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
		5	20	25				20	30	50	75
連携・協力組織	建設技能協同組合、造形教育研究会、森のクラフト、ジュニアリーダーの会										